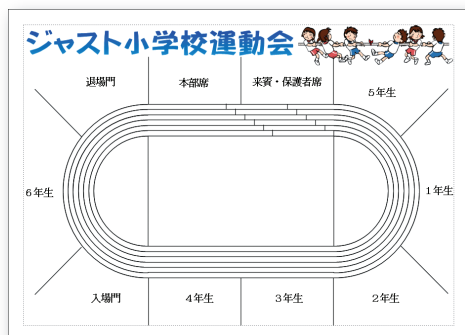




運動場のトラック図を 美しく簡単に描いてみよう

花子



運動会などの資料として使用頻度が高いトラック図。しかし、きれいにトラック図を描く方法が分からないとお困りの先生も多いと聞きます。

今回は、「花子 2008」を使ってトラック図を描く方法をご紹介します。運動会の徒競走やリレーなどの進行のほか、児童・生徒の整列位置の指示、観覧席の配置など、さまざまなシーンでお使いいただけます。

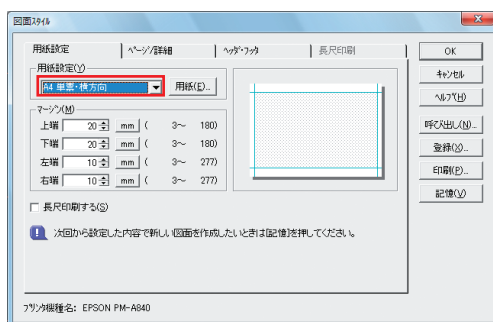


コネタくんからのアドバイス!

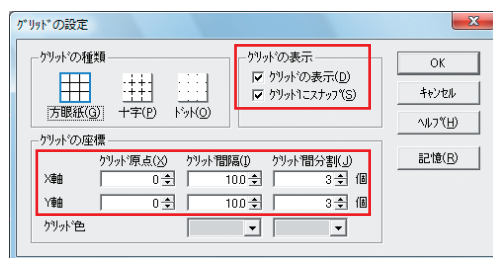
グリッドを表示して、スナップ機能を駆使すると、トラック線がズレることなく描けるよ。トラックの線やスタートラインを素早く正確にコピーできる「連続 / 複写」機能と文書の活用便利な「プレーン」機能は、ぜひマスターしてね!

グリッドを表示してフィールドを描く

1 「花子 2008」を起動し、[ファイル>図面スタイル (用紙の設定)] を選択します。[用紙設定] シートの [用紙設定] で用紙サイズと向き (ここでは [A4 単票・横方向]) を選択し、[OK] をクリックします。



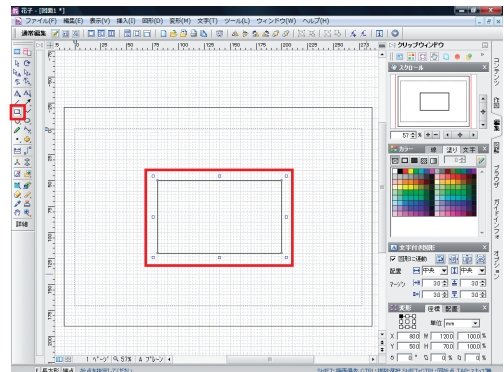
2 [表示>表示設定>グリッドの設定] を選択して [グリッドの表示] と [グリッドにスナップ] をオンにし、[グリッドの座標] を設定 (ここでは [グリッド間隔] を「10」、[グリッド間分割] を「3」に設定) して [OK] をクリックします。



- 3 描画パレットの「長方形」をクリックし、トラックのフィールド部分の長方形を描きます。



グリッドの交点にスナップさせながら長方形を描いておくと、次にトラックを描くときに便利です。



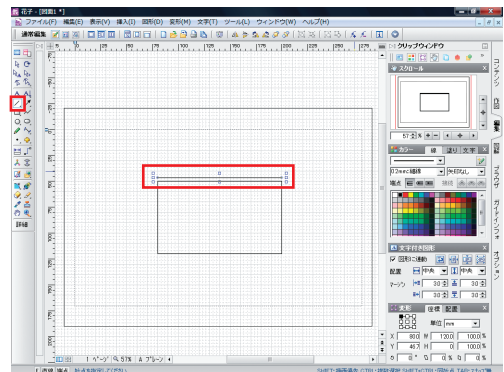
※編集画面を広くするため、文字入力ウィンドウは最小化しています。

「移動 / 複写」機能で直線コースを描く

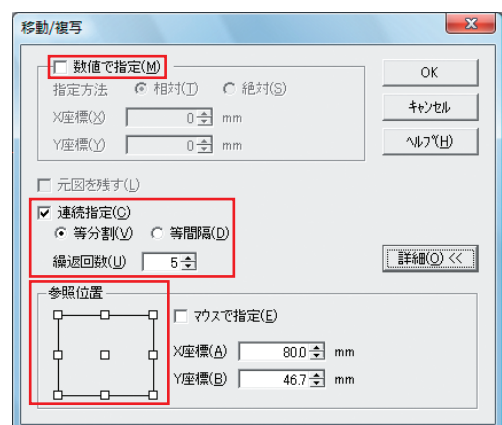
- 4 描画パレットの「直線」をクリックし、直線コースの元となる直線を描きます。



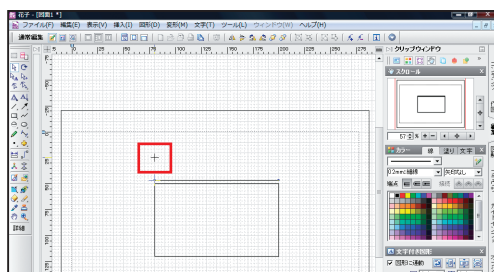
直線は、長方形の長辺と同じ長さで描きます。グリッドまたはグリッドの分割線に合わせて描くといでしょう。



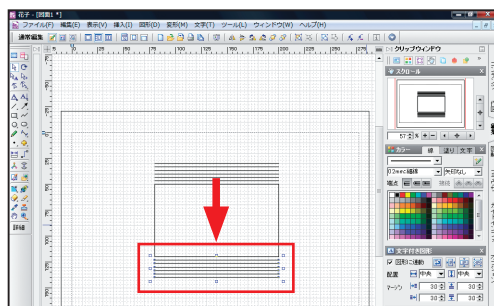
- 5 描いた直線が選択された状態のまま、「変形 - 移動 / 複写」を選択して「数値で指定」をオフ、「連続指定」をオンにし、「等分割」を選択して「繰返回数」を設定（ここでは6コース描くので「繰返回数」を「5」に設定）します。
次に「詳細」をクリックし、「参照位置」を「左上」に設定して「OK」をクリックします。



- 6** 「参照位置」 から上に5コース分数えていき、6コース目の直線の左端となる位置をクリックします。

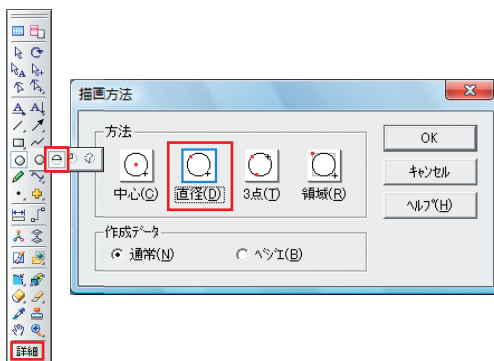


- 7** 直線が等間隔でコピーされます。
次に、すべての直線を選択し、[Ctrl] キーを押しながら下側にドラッグして、直線コースをトラックの下側にコピーします。



「図形スナップ」を利用してカーブを描く

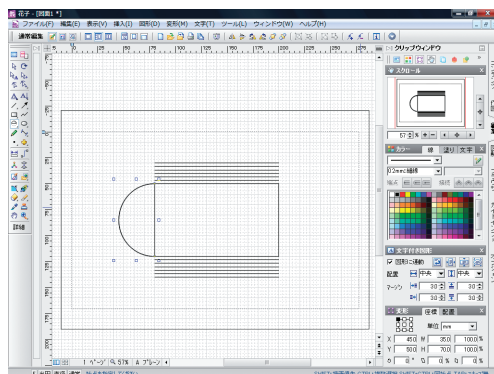
- 8** 描画パレットの「全円」を押し続けると表示される「半円」をクリックし、さらに「詳細」をクリックして「描画方法」ダイアログボックスを開きます。
「方法」で「直径」を選択したら、[OK]をクリックします。



- 9** 長方形の左下の端点から長方形の左上の端点に向かってドラッグし、カーブとなる半円を描きます。

One Point

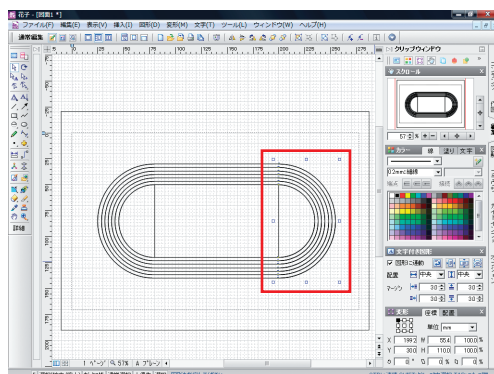
端点や中点、交点など、図形の特徴点にポイントを近づけると、自動的にその特徴点にポイントを合わせることができるのが「図形スナップ」の機能。「図形スナップ」がオフになっている場合は、[表示>スナップ>図形スナップ]を選択するとオンにできます。



- 10** 同様に、左側のカーブをすべて描いたら、描画パレットの「図形の選択（拡大／縮小）」をクリックし、すべての半円を選択します。次に[Ctrl]キーを押しながら右側にドラッグして、カーブ全体をトラックの右側にコピーします。最後に、カーブ全体が選択された状態のまま、四隅の□をドラッグして180度回転させ、端点同士がぴたりと合う位置まで移動します。

One Point

[Shift] キーを押しながら回転すると、回転の角度を45度単位で固定できます。

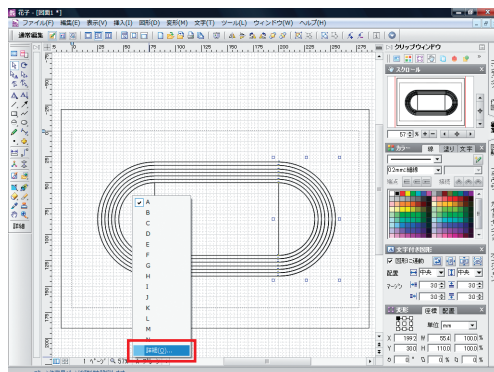


異なるプレーンにスタートラインを描く

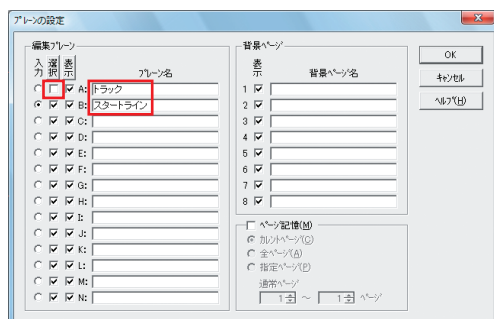
- 11** 「プレーン切替」ボタンをクリックし、「詳細」を選択します。

One Point

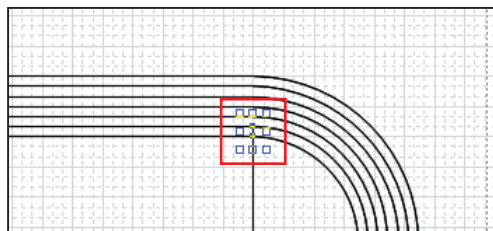
花子の各ページは、透明なシート（プレーン）が何層も重なった構造になっています。スタートラインをトラックと別のプレーンに分けておくと、トラック図だけを後から利用したり、トラック図はそのままだけを書き加えた内容を変更したりできるため、作業がしやすくなります。



- 12** 「プレーンの設定」ダイアログボックスが開いたら、Bプレーンの「入力」を選択し、Aプレーンの「選択」をオフにしてAプレーンを選択できないようにします。文書を後から見たときにわかりやすいようAプレーンの「プレーン名」に「トラック」、Bプレーンの「プレーン名」に「スタートライン」と入力し、[OK]をクリックします。

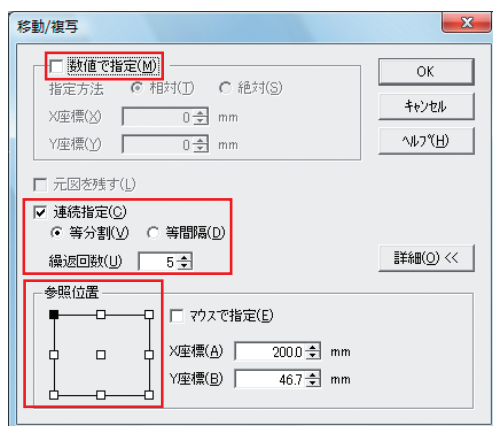


- 13** 描画パレットの「直線」をクリックし、1コースのスタートラインとなる直線を描きます。

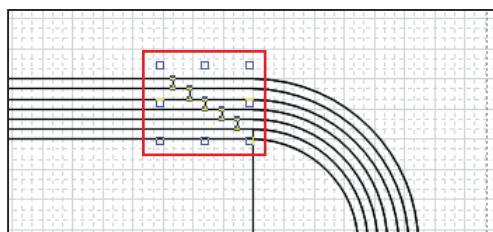


- 14** 描いた直線が選択された状態のまま、[変形→移動/複写] を選択して [数値で指定] をオフ、[連続指定] をオンにし、[等分割] を選択して [線回数] を設定します。ここでは6コース分描くので [線回数] を「5」に設定します。

次に [詳細] をクリックし、[参照位置] を「左上」に設定して [OK] をクリックします。



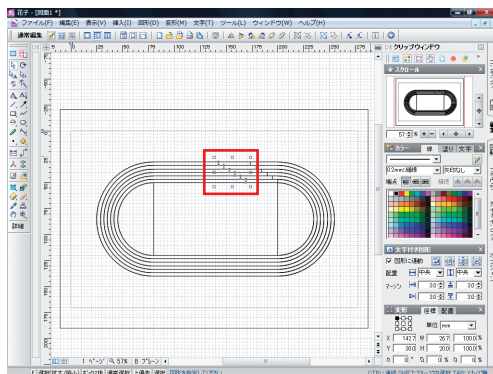
- 15** [参照位置] から上に見て、6コースのスタートラインの上端となる位置をクリックすると、スタートラインが等間隔でコピーされます。



- 16** スタートラインを複数配置する必要があるときは、スタートライン全体を選択した状態で、[Ctrl] キーを押しながら左側にドラッグしてコピーして完成です。イラストやタイトルを加えてもいいですね。

One Point

スタートラインとなる直線全体を選択した状態で、[図形→グループ→グループ化] を選択すると、直線全体をひとつのグループとして扱うことができます。スタートライン全体を選択するのに便利です。



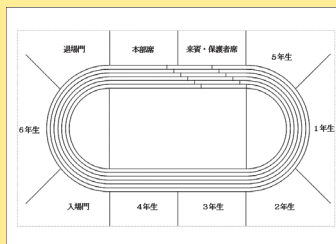
ちょっと
アレンジ!



応援席や各クラスの整列位置を書き加える

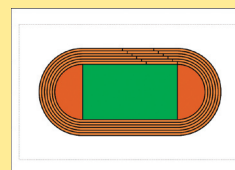
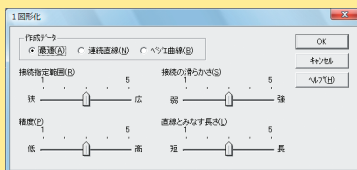
運動会などに欠かせない児童・生徒や保護者の応援席の配置や、各クラスの整列位置などの情報も、それぞれ別のプレーンに分けて描くと1つのファイルでまとめて管理できて便利です。

応援席の配置や整列位置などを描くときも、[変形-移動/複写]を使うと効率的。文字枠や区切り線を一気に等間隔でコピーし、あとから文字を入力しなおしたり、区切り線の位置や傾きを調整したりすることで、あっという間に完成します。



トラックやフィールドに色を付ける

描画したトラックは、バラバラの直線と半円で描かれているため、そのままでは塗りつぶしができません。トラックに色を付けたい場合は、「1図形化」の機能を使って、直線と半円をつなげて1つの図形にしましょう。1図形化するには、1つにつなげたい直線と半円をすべて選択した状態で、[図形-1図形化]を選択します。



テンプレートからトラックを描く/描いたトラックを部品に登録する

[ファイル-よく使うテンプレート-開く]を選択し、[学校-保健・体育]を選択すると、トラック図のテンプレートを利用できます。トラックの上でクリックし、置換編集でさまざまなトラックのイラストに置き換えることも可能です。

また、自分で描いたトラック図を部品に登録することもできます。部品に登録するには、部品にしたい図形全体を選択（選択ができないように設定しているプレーンがあれば、選択可能な状態に変更してから選択）し、[図形-合成]を選択します。次に、合成された図形が選択された状態で[ツール-部品-登録]を選択し、部品名やキーワードを入力して[OK]をクリック。これで、花子でも一太郎でも、部品として呼び出して利用できるようになります。

